

平成 28 年 3 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 管理本部副本部長 浜 口 和 雄
兼 経 理 部 長
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

平成 28 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 9 月 14 日に公表した、平成 28 年 7 月期（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）における第 2 四半期の連結業績予想数値と、本日公表の連結実績数値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 9 月 14 日に公表した平成 28 年 7 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結業績予想との差異について

平成 28 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,700	△ 10	△ 15	△ 30	△ 6.50
当期実績値(B)	3,239	△ 347	△ 367	△ 384	△83.20
増減額(B-A)	△461	△ 337	△ 352	△ 354	
増減率(%)	△12.4	—	—	—	
(ご参考)前第 2 四半期実績 (平成 27 年 7 月期第 2 四半期)	3,901	△54	△44	△974	△211.16

差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間においては、中国経済の減速や世界的な資源価格下落による資源国経済の低迷等を受け、主力製品であるスマートフォン向け製品を中心に生産調整が行われたことから、受注が当初の予想に比べ減少しており、売上高は当初予想値を下回りました。

また、損益面においても、売上減少の影響で売上総利益が低下しており、その結果営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初予想を下回る結果となりました。

2. 平成 28 年 7 月期通期連結業績予想の修正（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	100	90	60	13.00
今回修正予想(B)	6,500	△ 450	△ 500	△ 550	△119.15
増減額(B-A)	△1,300	△ 550	△ 590	△ 610	
増減率(%)	△16.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 7 月期)	7,524	△455	△415	△1,452	△314.62

修正の理由

中国経済や資源国経済の減速に加え、第 3 四半期以降は国際金融市場の急変による急激な円高のリスクもあり、スマートフォン向け製品を中心に事業環境はより一層厳しい状況になることが想定されます。

当社グループとしては、市場ニーズに合わせた製造設備の見直しや製販部門の連携による受注体制強化を行い、積極的な受注活動を行っていくものの、事業環境の悪化を補うことは困難と見込まれることから、売上高を当初予想から下方修正いたします。

損益面については、売上減少に対応する生産体制を構築すべく、生産性向上・経費削減の徹底を追求していくものの、売上高の減少を補うことは困難と見込まれることから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益についても、それぞれ当初予想から下方修正いたします。

以上